

第19回例会報告(11月24日)

【出席報告】

- ・会員数 62名
 ・当日出席率 68.63%
 ・欠席数 24名
 ・前々回修正出席率 94.23%
- <欠席会員> 原田、檜垣(圭)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、飯、冠、川上、黒川、光藤、宮本、村上(裕)、重松、清水、竹田、寺町、吉田、
- 〔免除会員〕原(真)、近藤(憲)、松本、村上(敬)、中川、坂本、白石(天)、宇高
- <11/10欠席補填> (11/14今治北)小島 (11/15今治南)菅、渡邊(一) (11/21今治北)原田、清水

- 会長報告・ガバナー事務所より高木ガバナー補佐宛に書籍「奉仕の一世紀～国際ロータリー物語～」が5冊送られました。4冊は、「市民の皆様にもロータリーをよりよく理解して頂く為、今治・西条・新居浜・四国中央各市立図書館に寄贈にして頂きたい」というガバナー補佐からの依頼がありましたので、今治RCに送られた1冊を、11月16日に今治市立図書館に寄贈し、市立図書館よりお礼が届きました。残りの4冊は今治RCで保管します。
- 幹事報告・忘年夜間例会のご案内：12月22日、18:30より大須伎にて。(常盤町8-3-10 2F/32-3388)
- ・IM開催のご案内：1月28日(土)、11:30登録開始、12:30開会。当日は全員役割分担がありますのでご予約下さい。詳しくは12月8日の例会で発表します。
- ・レート：12月1日より1ドル=118円に変更。(現行は112円)
- ・その他回覧物：2005-06 ロータリー財団国際親善奨学生名簿、全国ローターアクトクラブ名簿、RI2560地区新潟県中越大地震復興支援活動の記録、今治市国際交流協会主催第4回アフタヌーン・パーティーのご案内、RIマルメ・コペンハーゲン年次大会参加のご案内、その他

国際奉仕委員会アワー

越智務国際奉仕委員長：渡部修氏に卓話をして頂きます。元日本スリランカ友好協会会長、現在WILLの会会長ですが、元玉川町長で紹介した方がわかりやすいと思います、と紹介される。

渡部 修氏：14年前の玉川町長時代、スリランカ・マターレー市の市長から消防車が欲しいと要請があった。2台送ったところ、贈呈式に来てほしいと依頼があったので訪れてみると、国・州・市を挙げての大歓迎を受けた。消防車の評価額は日本では2万円だが、東シナ海・ベンガル湾を渡ると400倍の800万円となった。世界にはいろいろな国があり、私も何か出来ることはないかと思いながら30歳で町会議員、40歳で議長、そして後に町長となり、行政での夢の実現に向い取り組んできた。スリランカでは、国を挙げ喜んでくれたこと、とても嬉しく思う。スリランカはシャツとパンツ2、3枚あればのんびり生活できる為、発展性が乏しく、民族問題、宗教の2分化、抗争で政治が内紛という問題をかかえる。食い止めるのは教育・異文化の吸収にある。日本スリランカ協会は引き続き越智今治市長にお願いした。NGOヘーラット財団は世界各地の優秀な子供に学資支援を行っている。私も利子だけで成り立つ永久奨学金を設立。「お父さんのおかげで大学へ行ける。社会に役立つ人となり、いつかお父さんに会いに行く。元気でいて下さい。」と奨学生からの手紙が届くたび大変嬉しい。発展途上国は完全な学歴社会であり、大学卒業=社会の指導者となる。彼らが社会の中心になれば平和が訪れるのではないだろうか。昨年、大統領から青少年の健全育成、教育問題に力を貸してほしいと要請があった時には、「地球上には様々な文化があり、文化に善し悪しは無く、解決策は国民教育にあるだろう」と申し上げた。WILLという本を執筆。大学での異文化理解の足がかりになってくれればと願い、スリランカへ1000部、アメリカへ500部お送りした。RCの皆さんも東南アジア留学生の支援をされていると聞きました。私も小さいながら皆さんと同じ事をやっている。考え方も同じです。これからもご指導願えれば幸いです、と締められました。



<ゲスト> 元玉川町長・NGOヘーラット財団 エヒメサクラランカクラブ会長 渡部 修氏
 <来訪ロータリアン> 今治北RC 原 真治氏、森田 博氏

次回例会(12月1日)

【外部卓話】 日本カルチャー研究所(株)/石川島播磨重工業(株)環境機器代理店
 次長 本田 二郎氏：「身近な環境問題におけるオゾンの有用性」

<夫人誕生日> 白石 洋治氏(12/4)
 <入会記念日> 原 真也氏(12/2) 久米 操氏(12/2)

〔献立：寿屋〕